

岡山市埋蔵文化財発掘調査速報展2007



江坂コレクション 岡山市建部町図書館たけるべ内

建部町の郷土史家(故)江坂進氏(1905~1977)は、旧制金川中学校~新制金川高校教諭として勤務されていた昭和14~34年の20年間を中心に、貝類、化石類、考古資料を採集・研究されました。その採集資料は、約20,000点にもなります。平成4年、この資料はご親族から建部町に寄贈され、江坂コレクション展示室が開設されました。

岡山城三之外曲輪跡 岡山市蕃山町

岡山中央中学校の体育館などの建設に伴って発掘調査を実施しました。調査地点は岡山城の一番外側の郭にあたり、寛文九(1669)年、岡山藩主池田光政によって岡山藩藩学が設置された部分にあたります。いまま学校の南側には洋池が残り、その一帯が国指定史跡となっています。明治時代以降は岡山県師範学校、岡山県女子師範学校などが置かれていました。

発掘調査では、岡山県女子師範学校の基礎などを検出したほか、ガラス瓶や食器、防衛食容器、定規や石版、蠟石などの文具などが出土しています。

江戸時代の遺構は藩学関係者の屋敷跡、石を敷き詰めた道路、大きな井戸など多くの遺構を確認しています。特に屋敷跡や道路は江戸時代の絵図とほぼ一致しています。出土遺物も陶磁器類の他、椀や下駄などの木製品、スナメリの骨などが出土しています。

彦崎貝塚 岡山市灘崎町彦崎

縄文時代の早期から晩期の貝塚遺跡で、昭和23・24年に東京大学理学部人類学教室により発掘調査が実施され、20体以上の縄文前期人骨や多数の縄文土器・石器・骨角器等が検出されました。特に縄文土器が山内清男によって瀬戸内の基準となる資料として認定されたことにより、全国的に知られる遺跡となりました。

平成15・16年度には、史跡指定等の目的で貝塚の範囲確認調査が実施され、貝塚本体の保存状態が極めて良好であることが確認されました。

平成18年度の範囲確認調査では、丘陵裾部の平坦部から、縄文時代晩期前半の遺構と遺物が検出され、晩期の居住区域であったことが推定されます。さらに、弥生時代の住居も検出されたことから、遺跡の範囲が広がることも予想されます。

万富東大寺瓦窯跡 岡山市瀬戸町万富

万富駅の北方約400mにある細長い丘陵(大寺山)にあり、昔から「東大寺」の刻印のある瓦や窯壁が発見されていたことから、昭和2年に国の史跡になりました。

奈良時代に創建された東大寺は、平安時代の終わりに(1180年)源平の戦いで焼失しましたが、朝廷や鎌倉幕府の支援のもとで再建されました。その再建に使用された瓦が、瀬戸町万富でつくられていました。この地には良質の粘土があり、古くから焼き物の産地であったため職人も手配しやすかったのでしょう。約30~40万枚の東大寺瓦がつけられたと推測されており、大規模な瓦製造工場でした。南都東大寺までの輸送ルートはわかっていませんが、吉井川の水運を利用していたものと思われます。

賞田廃寺中世本堂跡 岡山市賞田

花崗岩の礎石を使った建物跡が新しく見つかりました。場所は西塔の真北に当たり、谷筋地形のため寺院遺構は存在しないと考えられたところでした。

この建物跡の南半分はすでに失われていましたが、残された9基の礎石や礎石抜穴の配置から5間×4間の規模が復原できます。柱間は心芯で1.8mですが、建物中央の奥部分は柱間を心芯距離で3mと広くとっていて、この部分が須弥壇と推定されます。こういった礎石配置からこの建物は中世本堂建築であったと考えられます。

この礎石建物の北辺と西辺には雨落溝が残っていて、多量の中世瓦で埋まっていた。文明八(1476)年の紀年銘を有する瓦は、この溝から出土しました。文明八年は建立ないし修理の年代と考えられます。

史跡 岡山城跡本丸本段・下の段 岡山市丸の内

岡山城跡本丸本段と下の段にあたる鳥城テニスコート跡地の遺構の残り具合を調べるために調査を行いました。

岡山城には戦前まで旧制中学校がありました。本段にはその建物の基礎が深く掘られていましたが、宇喜多期と考えられる埋没石垣や、池田期の多間櫓の基礎等が見つかりました。石垣は約2.5mの間をあけて2面見つかりました。どちらも、ほとんど加工していない花崗岩を積み上げた野面積みです。多間櫓は『御城内御絵図』に描かれているものと考えられ、花崗岩の基礎と並行する凝灰岩(豊島石)を削った石製の溝が見つかりました。遺物は宇喜多期の金箔押し瓦、池田期の瓦、皿や茶碗、貝殻や魚の骨といった食物残滓(ゴミ)、旧制中学時代のインク瓶、三角定規や硯といった学用品等が見つかりました。

下の段には5ヶ所のトレンチ(試掘堀)を掘りました。そのうち3ヶ所から花崗岩の基礎が見つかりました。これらは『御城内御絵図』に描かれた池田期の櫓や蔵のものと考えられます。

